

研究発表もうしこみフォーム

氏名：山田 洋平

氏名のローマ字表記：YAMADA Yohei

所属：東京外国語大学

専門分野：言語学・言語教育学

発表のタイトル：初学者向けモンゴル語学習語彙

発表要旨：

本研究では非母語話者向けのモンゴル語学習の最初期に学ぶべき基礎語彙を検討する。検討にあたっては主に日本で出版された初学者向けのモンゴル語教科書類と、2023年に発表された TOMFL (外語としてのモンゴル語試験) で設定されている M1 レベル (6 段階中の第 1 段階) の語彙を参照し、それぞれどのような語彙が掲載されているかを基準とした。

基礎的な語彙を集めた「語彙集」は各種存在するが、いずれも語彙選定の基準については記載がなく、それが必要十分な語彙数なのか、学習者の多用なニーズに答えるものなのかは不明であった。従来 (少なくとも本邦における) モンゴル語学習においては、限られた教材の中で学習者が主体的に必要な語彙を学んでいく、あるいは教員の個々の判断で必要な語彙を選定する、ということが行われてきたものと思われる。2023年に発表された TOMFL は主にモンゴルへの留学を希望する者を対象としたモンゴル語能力検定試験であり、オンラインで世界中から受けることができるよう設計されている (2024年2月に第一回目の試験が実施されたとの由)。TOMFL では初級 (M1, M2)・中級 (M3, M4)・上級 (M5, M6) という 6 段階のレベル分けがされており、それぞれに基準となる文法・語彙・表現 (あるいは場面) の事項が設定されている。これによると初級の M1 では 731 語、M2 では 1040 語が基準となっている。ただし試験の練習問題として公刊された問題集を見るとこの基準に当てはまらない語彙も出題されているので、この基準がいかなるものなのかはやはり不明である。こうした語彙の選定にあたっては国内外のモンゴル語教科書 (いわゆる国語教科書や第二言語としての学習者向けのものも含む) を参照したという。

本発表では 3 種類の語彙集と 6 種類の教科書に付された語彙集、そして TOMFL の M1 の語彙を対照し、これらの中で共通して収録されている語、収録にバラつきのある語の特徴、TOMFL との差異、そして初学者向け語彙の選定の方法論について議論する。